

太陽研連シンポ

太陽研連シンポジウム「太陽研究の将来展望」

○日時

2019年 2月18日(月) 10:00 - 20日(水) 16:30(予定)

+ 懇親会: 2月18日(月) 18:30 - 20:30

+ 太陽研連総会: 2月19日(火) 11:35 - 13:00

○場所

名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/congre.html> の D2-7)

○開催趣旨

太陽研連シンポジウムは、国内外で推進されている太陽およびその関連研究について、最新科学成果のレビューに基づく科学討議、また太陽研究の将来についての討議を通じて、将来の研究方向性についての共通意見形成を図ることを主たる目的としています。加えて、本年度のシンポジウムでは、太陽物理周辺諸分野の研究進展をレビューすることで太陽物理学との関連、位置付けおよび将来展望を議論します。

2月18日(10:00-18:10)

(午前 座長:今田)

●Solar-C_EUVSTを軸とした将来スペースミッションと太陽研究の将来展望

- 10:00-10:20 清水敏文 Solar-C_EUVST が担う 2020 年台の太陽観測研究と 2030 年台への展望
- 10:20-10:40 石川遼子 打ち上げ迫る！太陽観測ロケット実験 CLASP2
- 10:40-11:00 久保雅仁 国際大気球太陽観測実験 SUNRISE-3
- 11:00-11:20 成影典之 磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指す衛星計画 PhoENiX
- 11:20-11:40 今田晋亮 Solar-C_EUVST 科学1:コロナ加熱
- 11:40-12:00 鳥海森 Solar-C_EUVST 科学2:太陽フレア
- 12:00-12:20 横山央明 Solar-C_EUVST 科学3:数値モデリング
- 12:20-12:40 川手朋子 Solar-C_EUVST 装置: 光学設計
- 12:40-14:00 昼休憩 (運営委員会)

(午後 座長:横山)

14:00-14:30 招待講演 庄田宗人 高速太陽風の三次元磁気流体計算

●彩層モデリング研究～観測計画の展望 14:30-16:10

- 14:30-14:50 鈴木建 Solar-Astro connection
- 14:50-15:10 大場崇義 将来観測機器で探る光球熱対流のサイエンス
- 15:10-15:30 勝川行雄 光球・彩層ダイナミクスを観測するための輻射輸送モデリングとインバージョン
- 15:30-15:50 飯島陽久 SUNRISE-DKIST-EUVST と彩層・コロナモデリング

15:50-16:10 松本琢磨 SUNRISE-DKIST-EUVST 観測に期待すること:コロナ加熱・太陽風加速の観点から

休憩 16:10-16:30

●DKISTをはじめとした地上観測研究と衛星計画の連携の展望 15:30-16:30

16:30-16:50 永田伸一 Solar-C_EUVSTと飛騨天文台の協調観測

16:50-17:10 浅井歩 DKISTとSolar-C_EUVSTの連携

17:10-18:10 横山 スペースミッションとの連携に関するまとめと議論

18:30 懇親会

2月19日(09:00-17:30)

(午前 座長:一本)

09:00-09:30 招待講演 野津湧太 Do Kepler superflare stars really include slowly-rotating Sun-like stars ? - Latest results using spectroscopic data and Gaia-DR2 stellar radius data -

●観測所・プロジェクト報告と将来計画1

09:30-09:50 上野 悟 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡 2018 年度共同利用&国際連携事業報告

09:50-10:10 一本 潔 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡による最近の研究成果

10:10-10:25 石井貴子 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡観測成果報告

10:25-10:40 末松芳法 太陽観測科学プロジェクト活動報告

10:40-10:55 下条圭美 国立天文台の太陽電波観測と太陽データ解析環境

10:55-11:10 萩野正興 近赤外イメージング・ポラリメータの開発状況

11:10-11:35 一本潔 共同利用などについて意見交換

11:35-13:00 太陽研連総会および昼休憩

13:00-14:00 ポスターセッション

(午後 座長:増田)

14:00-14:30 招待講演 柴山拓也:プラズマ物理実験場としての太陽コロナ

●観測所・プロジェクト報告と将来計画2

14:30-14:45 清水敏文 太陽観測衛星「ひので」の現在状況

14:45-15:00 直井隆浩 NICT太陽観測活動報告

15:00-15:15 徳丸宗利 名大太陽風グループの活動報告

- 15:15-15:30 三澤浩昭 東北大学太陽電波望遠鏡の運用状況
- 15:30-15:45 松原豊 第24太陽活動期における太陽中性子の地上観測
- 15:45-16:00 増田智 2018年度野辺山電波ヘリオグラフ運用報告
- 16:00-16:15 増田 智 名大共同研究報告
- 16:15-16:45 ポスターセッション
- 16:45-17:15 招待講演 村上泉 LHDを使った鉄イオン原子データ・原子モデルの検証と Solar-C/EUVST へ向けた今後の予定
- 17:15-17:30 川田和正 太陽による宇宙線の遮蔽現象を利用した太陽周辺磁場の研究
- 17:30-17:45 Pei Hsuan Lin Critical Parameters of an Active Region to Produce Eruptive Solar Flares and CMEs

2月20日(09:00-16:30)

(午前 座長:勝川)

09:00-09:30 招待講演 大塚雄一 GNSSを用いた電離圏変動の観測

09:30-09:45 王怡康 Radiative loss and temperature profile in magnetic chromosphere

09:45-10:00 Sung-Hong Park Solar Active Region Property Database from SDO/AIA and HMI data: Construction and Application

10:00-10:30 招待講演 Johan Muhamad Study of the Characteristics of Magnetic Field Structures and Trigger Mechanism in the Flaring Active Regions

10:30-10:45 河合敏輝 深層学習と一次元流体計算を用いたナノフレアの検出およびエネルギー導出手法の開発

10:45-11:00 柴崎清登 太陽活動と磁場:古典電磁気学に基づく考察

11:00-11:30 招待講演 堀智昭 あらせ衛星-SuperDARN レーダー同時共役観測によって明らかになった超低周波磁束管振動

11:30-11:45 田中良昌 太陽地球結合過程の研究のためのデータ解析基盤「IUGONET ツール」の紹介

11:45-13:00 昼休憩

13:00-14:00 ポスターセッション

(午後 座長:草野)

- 14:00-14:15 金子岳史 噴出型プロミネンス内部速度場の数値モデリング
- 14:15-14:30 鷺ノ上遥香 ゼロ・低金属量星におけるコロナループ加熱とX線放射
- 14:30-14:45 岩井一正 データ同化シミュレーションによる内部太陽圏の可視化
- 14:45-15:00 石塚典義 太陽フレア中のプラズモイドの成長過程に関する観測的研究
- 15:00-15:15 木原孝輔 太陽高エネルギー粒子(SEP)の発生に関する統計的研究
- 観測所・プロジェクト報告と将来計画3
- 15:15-16:15 草野完也 ポスト PSTEP に向けて
- 16:15-16:30 会長:横山 研連シンポまとめ

ポスターセッション

1. 伴場由美 The Role of a Tiny Brightening for Huge Geo-effective Solar Eruption Leading to St Patrick Day Storm
2. 伊集朝哉 太陽フレア望遠鏡での黒点観測
3. 吉塚 弘康 活動領域スピキュールの物理量の推定
4. 三浦則明 補償光学系と画像処理手法の開発状況(飛騨 DST 共同利用報告)
5. 末松芳法 飛騨天文台共同利用・太陽2次元面分光観測装置による活動領域の分光観測
6. 花岡 庸一郎 高速偏光変調との同期を実現した H2RG 赤外線カメラ
7. 宮良 碧 太陽シンチレーションモニタと太陽像を用いたシーイング調査
8. 鶴田康介 マイクロ波スペクトルの折れ曲り周波数と白色光放射との関係
9. 森田 諭 国立天文台三鷹太陽フレア望遠鏡近赤外偏光分光観測装置 pipeline 改修
10. 川手朋子 統計研究で迫るコロナ撮像分光と光球磁場によるフレア前兆現象
11. 木村剛一 液晶チューナブルフィルター開発状況
12. 山崎大輝 飛騨天文台 SMART T4 偏光キャリブレーション
13. 石川遼太郎 スペクトル線幅と非対称から探る太陽光球プラズマ乱流ダイナミクス
14. 坂上峻仁 部分電離プラズマリコネクションにおける高密プラズモイド形成のシナリオ
15. 野澤恵 太陽物理実習の実践報告(大学から初等教育まで)と cubesat ミッション
16. 阿部仁 彩層・コロナ加熱解明に向けた ALMA による太陽電波観測
17. Magnus Woods The Triggering of the 2014 March 29 Filament Eruption
18. 町田亜希 飛騨天文台 SMART/SDDI でとらえられた浮上磁場領域/アーチフィラメントシステムの速度場の時間発展

○共同主催

太陽研究者連絡会・名古屋大学宇宙地球環境研究所・国立天文台・
JAXA 宇宙科学研究所・京都大学大学院理学研究科附属天文台

○開催支援

名古屋大学 ISEE 研究集会
国立天文台研究集会
新学術領域 PSTEP

○世話人

SOC

草野完也[開催地担当, 代表]、増田智、今田晋亮(名大)
花岡庸一郎、下条圭美、勝川行雄 (国立天文台)
一本潔、浅井歩 (京大)
清水敏文 (JAXA 宇宙研)
横山央明 (東大)

LOC

草野完也、増田智、今田晋亮、井上諭、松本琢磨、Park Sung-Hong、飯島陽久、金子岳史、石川真之介(名大)